



三次中央会報

ロータリークラブ

事務所/ 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1246
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrc.server-shared.com

例会場/ 広島県三次市十日市南1-10-1
三次グランドホテル

例会日/ 月曜日 12:30~13:30

会長 / 栗本 清 秀

幹事 / 杉谷 優 治

●2021~22年度 国際ロータリーのテーマ



夢は希望の人生を豊かにする力。

●2021~2022年度 三次中央RCスローガン
クラブの魅力を共有し、
友を増やそう

2021-2022 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

■本日のプログラム 市役所出前講座/SAA・出席委員会
健康体操 政倉由子様

■次回例会日時 2022年5月9日(月) 12:30~

■次回プログラム クリスマス会の写真スライドショー/親睦委員会

■第1346回例会記録

●日時.....2022年4月18日(月)12:30~

●点鐘.....会長

●国歌「君が代」斉唱.....全員

●ソング「我らの生業」.....全員

■開会挨拶.....栗本会長

悲惨な戦争の終結を願う

皆さん、こんにちは。本日の例会は本来ならIMの振り替えで休会でしたが、コロナ禍により中止となりましたので、ロータリー情報委員会担当の新会員卓話となりました。

圓道会員、山縣会員、池田会員、そして沖委員長よろしくお願いたします。

先日のニュースでウクライナ侵攻作戦に参加していたロシア海軍黒海艦隊のモスクワが黒海沖で沈没したと報道されました。

モスクワは12,500トンの大型巡洋艦で黒海艦隊の司令塔の役割を持つ旗艦でした。アメリカ情報誌によるとロシア艦隊の旗艦が作戦遂行時に沈没したのは、1905年日露戦争日本海海戦でバルチック艦隊の旗艦14,000トンの戦艦クニャージ・スヴォーロフ以来ということです。

モスクワは旧ソ連海軍のスラヴァ級巡洋艦で1983年に就役し当初は栄光を意味するスラヴァを艦名にしていたましたが、1995年に首都モスクワにちなみ改称されました。

ミサイル巡洋艦であり、その主装備は550km

の長距離射程の超音速艦対艦ミサイルです。

ウクライナの大統領補佐官は対艦ミサイル2発が命中しその後炎上沈没と発表し、ロシア国防省は積んでいた弾薬がなんらかの事故で爆発し、海が荒れていたため沈没したと発表しています。

ウクライナ軍の攻撃によるものか、事故によるものかと両国の発表は異なっておりますが真実は1つであります。

いずれにしてもこの悲惨な戦争が1日も早く終わることを願わずにはられません。

以上で会長挨拶を終わります。



■幹事報告.....杉谷幹事

- 本日例会終了後、臨時理事役員会を行います。
- 4月25日は昼例会です。SAA・出席委員会の担当で市役所からの出前講座です。

■次年度関係.....中島次年度幹事

次年度委員会組織を配布しております。確認してください。

インフォーマルミーティングの予定です。

●クラブ管理運営委員会

4月21日(木) 広島三次ワイナリーで19:00より

●会員組織委員会

4月28日(木) 三次グランドホテルで19:00より

●四大奉仕プロジェクト

5月10日(火)。場所は未定。時間は19:00。

■出席報告.....中西委員長

●第1344回 4月4日

会員数	36名	Make-up	0名
欠席	6名	出席合計	30名
欠席者のうち欠席と見做す	1名	出席率	85.71%

●第1346回 本日の出席は36名中28名です

■SAA.....小根森SAA

●会員誕生日 冨野井君



●会員ニコニコBOXご出宝



- 山縣君 昨日は妻の誕生日でした。きれいな花を贈っていただき、ありがとございました。(欠)
- 松本君 四国88所巡礼、全て廻りました。(欠)
- 沖君 圓道さん、山縣さん、池田さん、本日の卓話 よろしくお願ひします。(欠)
- 栗本君 新会員卓話、よろしくお願ひいたします。
- 杉谷君 新会員卓話、よろしくお願ひいたします。
- 沈君 本日、次年度委員会組織を発表しました。皆様よろしくお願ひします。
- 中島君 次年度委員会組織発表しました。インフォーマルミーティング、よろしくお願ひします。
- 石田君 新会員卓話、楽しみです。
- 圓道君 本日は新会員卓話です。初めての卓話ですので、よろしくお願ひします。
- 池田君 2回目の卓話、よろしくお願ひします。
- 平田君 「感動のある一日一日を！」

ニコニコBOX本日出宝額 21,000円

4月は、母子の健康月間です

毎年、5歳未満で命を落とす子どもは、世界で推定590万人。その原因は、栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。

予防可能な原因で母と子どもが命を落とすことなどあってはならないと、私たちロータリー会員は考えます。全ての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子どもがすくすくと成長できるように、私たちは支援活動を行っています。

ロータリーはこんな活動をしています

教育、予防接種、出産キット、移動クリニックなど、ありとあらゆる方法で母子の健康を推進しています。また、女性を対象に、HIV母子感染の予防、母乳による授乳、病気の子防に関する教育も行っています。

マイロータリーより

寄稿：大井睦子雑誌会報委員長

きょうは三人の方に卓話をさせていただきます。人前で話すということに慣れる、これもロータリーの鍛錬のひとつだと思います。

今、私は「80歳の壁」という本を読んでいます。とても面白い。その中の一つに「80歳になれば大いにわがままになれ」というくだりがあります。人に嫌われるわがままになれ、ということではありません。人に好かれるわがままになれ、と書いてあります。

また、『おかしから笑うのではなく、笑うからおかしいのだ』ということも書いてあります。若い人も為になるのではないかと思います。読んでみてください。

沖 東洋治ロータリー情報委員長



「継続は力なり」

圓道 健二 (行政書士)

1977年 (S52年) 5月19日



皆さん、こんにちは。早いもので私が今年の10月にロータリーに入会してから半年が経ちました。今回、初めての卓話です。よろしくお願いします。

テーマは、ロータリー入会前と入会后についてです。私は、令和2年8月に事務所を開設しました。それまでは広島市内の税理士事務所に勤務していました。独立するまでは、ロータリーについてどうしたものか考えたことは全くなく、将来、入会するとは思っていませんでした。唯一接点があったとすれば、担当していた顧問先の法人の方がロータリーに入会しており、請求書を見て、会計ソフトに入力することでした。思い起こせば、例会会費や財団寄付、家族会費といった内容があったなあという感じです。その当時、気にしていたことと言えば、会計処理や税務上の取り扱いがどうなるのかということでした。

改めて言う必要はないかもしれませんが、法人と個人では税務上の取り扱いが異なります。法人の場合は、入会金や会費は交際費として処理され、基本的には損金算入となります。個人の場合は顧客獲得を主目的として、所得を生ずべき業務と直接関係はあるといえず、必要経費として処理出来ないという裁決が出ています。

ロータリー入会后についてですが、まず入会当初は本当に何もわからず、特に用語についてはさっぱりで、聞いたことない言葉がたくさんあり、組織や役職、委員会についても何も知らない状態でした。

現在は、毎週例会に出席することで、少しずつではありますが理解が進んできました。もちろん、まだまだわからないことばかりですので、これからも少しずつ学んでいこうと考えています。

私の好きな言葉の中に「継続は力なり」というものがあります。私が小学生の時に通っていた塾の教室にも掲げられていました。今からプロ野球選手になるといった特別なことでなければ、仕事や勉強など大体の事は継続していけば何でもできると思っています。私が税理士を目指したのは29歳の時でした。その時は簿記のボの字も知らず、初歩の初歩からスタートしました。最初は全く分からなくても、とにかく立ち止まらず、継続して進んでいけば、後から過去やっていたことがわかってくる。そんな思いで頑張ってきました。

私は、結婚したのが41歳、独立したのは42歳、子どもが生まれたのは44歳と、一般的な人よりも10年から15年スタートが遅いです。その分、人より長く生きたいと考えています。この話をするとよく何歳まで生きたいのかと聞かれます。私は、いつも150歳まで生きますと伝えています。今は、長生きをするために何かをしているわけではなく、全く運動もせず、毎日お酒を飲む生活を送っているので、長生きできる方策を検討するつもりです。

現在、44歳。人生の本番はこれからだと思っています。一日一日を大切に、自己研鑽に努め、目標を持って、しっかり前を向いて、歩んで行きたいと思っています。

積極的に参加したい

山縣 隆(ワイン製造販売)

1965年(S40年)7月12日



私は以前よりロータリークラブやライオンズクラブなどの存在や活動は知っておりましたが、深く関心を持ったのは約12年前、元当社の代表取締役をしていただきました千崎社長が入会をさせてもらってからです。

ご存じの通り当社はワインを製造販売していることから、オープン前からワインの販売でお世話になっております酒販関係の皆様や観光協会等でお世話になっております諸先輩方が沢山いらっしゃるから、三次中央ロータリークラブへの入会を決められたと聞いております。

その後前任の2人からは、ロータリーは役所やJAとは一味違って異業種の方が沢山おられ、色々とお話していただくとともに何かと可愛がってもらい、とても楽しいと聞かされておりました。

その分、夏の家族例会では当社施設をご利用いただくということで大変力が入り、何日も前から準備をして当日も自ら汗を流して炭を焼いたり肉を焼いたりして、おもてなしの心で全力投球されておりました。随分プレッシャーもあったことと思いますが、これもロータリーを愛する気持ちというか、ロータリーの皆様、そしてご家族、皆が幸せであってほしいという気持ちが強かったからこそだと思っております。

そのようなイメージの中で私もロータリーに入会させていただくこととなり、現在は毎週例会に出席させていただいておりますが、他の活動にはまだ参加できておりません。昨年はやむを得なく中止となりましたが、今年度も夏家族例会でお世話をさせていただくことがございましたら、前任者以上に汗を出して頑張りたいと思います。

その他、奉仕活動、交流ゴルフコンペ等につきましても積極的に参加し、4つのテスト(1)真実かどうか(2)みんなに公平か(3)好意と友情を深めるか(4)みんなのためになるかどうか。を實踐し、地域社会に奉仕するとともに、自らの成長につなげて参りたいと思います。

そして、30年以上も無欠席で継続して出席されている先輩方がおられるということで私はまだまだこれからですが、これからは休まず出席を続けていくことと、一日も早くロータリーソングの「奉仕の理想」そして「我らの生業」を覚えるようにしたいと思います。

ただ意味も分からず歌っていても意味がありませんので、歌詞の中身も勉強していきたいと思っております。

タイトルもですが、「奉仕の理想」という歌はなぜ「奉仕の理念」ではないのでしょうか?理想というと「理想の女性」とか「理想の上司」のように「このようになりたいな〜」という憧れをイメージします。奉仕することを使命、宿命のように固く考えずに、自然に気持ちよく奉仕できる人間になることを意味しているのでしょうか?まだ何も分かりませんがしっかり勉強していきたいと思っております。若輩者ですが、今後ともよろしくお願いいたします。

ロータリーに入会して

池田 美咲(ホテル)

1967年(S42年)6月18日



私がロータリーという存在を知ったのは、広島で働いて居る時に、よく各地域ごとのロータリーの方々にご利用いただいていたので、存じ上げておりましたが、やはり社長・支店長・先生等広島では有名な方々のお集りだと認識しておりました。

前支配人の大前さんが入会し、なんとなく活動内容はわかっていたのですが、具体的にと言われると判らないのが現実でした。

三次中央ロータリーの会員様の中には以前から存じ上げている方もおられますが、初めましての方も多く、そう言った事では、幅広い交友関係を作る事が出来たのは良かったと思います。

三次中央ロータリークラブに入会して、もうすぐ1年になりますが、コロナの影響により、休会の月もありロータリーの活動としても以前のような事も出来ない事はとても残念です。色々なイベントが中止になる中、去年のクリスマス家族例会や花見例会は本当に楽しく、さくらの木を見て改めてロータリーの活動に感動しました。自分がロータリーのメンバーになれるなんて夢にも思いませんでした。まだまだ分からない事も多いですが、優しい先輩方にご指導いただきながら、忘れてはならないのは奉仕の心と創業者のポール・ハリスさんの名前、そしてロータリアンである事を楽しみながら、今後も三次中央ロータリークラブに所属し、楽しんで活動してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。